

選 ダブル大阪

“まっとうな市政”
柳本市長が選択訴え

維新 「大阪都」再び掲げる

11月22日投票の大阪府知事・大阪市長のダブル選挙を前に、大阪市長選に立候補を表明している前自民党市議団幹事長の柳本頭（あきら）大阪市議（41）

それぞれ大阪市内で政策を発表しました。どちらが「住民が主人公」のまともな自治体をめざすのか、違いはくっきりです。

すとのべ、住民投票で大阪市民を真っ二つに分け、4年間で30億円以上もかけた「大阪都」構想で、制度議論だけで政策議論がなかったこの4年間を振り出しに戻し繰り返すのか、大阪市政を真っ当にして前に進むのかの選択だと強調しました。

柳本氏は冒頭、橋下維新市政の4年間は「大阪都」構想で、大阪市がなくなるという前提のもとで市政が行われ、「未来に向けてつながる施策が何一つなかった」と指摘。「まっとうな大阪市政」を取り戻し、未来をきずく、つながる大阪へ立て直

とと地域、地域と行政をつなぐ▽未来へつながる改革―の五つを掲げ、公募校長制度の抜本的見直し、保育所待機児童の解消に向けた公・私施設整備、敬老パスの1乗車ごとに50円負担の廃止、市立幼稚園の単純な民営化議論に終止符、子ども医療費助成の所得制限の撤廃―などを挙げました。

吉村氏が、知事選に立候補を表明している松井一郎知事とともに発表した大阪維新の会のマニフェストには、「大阪都」構想への再挑戦を掲げ、大阪に首都機能の一部を移す「副首都大阪」の確立や、府市の大学、研究所の統合などを大阪の経済成長戦略に掲げています。また、カジノを中核とする統合型リゾート（IR）の誘致や、あらゆる手段を使う

記者会見し政策を発表する柳本氏10日、大阪市



記者会見し政策を発表する柳本氏10日、大阪市

柳本氏は政策の柱に、▽まずは経済を強く。都市を強く▽教育を強く。こどもや女性に優しく▽つながる社会で暮らしに安心▽ひ

つながる大阪へ立て直

つながる大阪へ立て直

つながる大阪へ立て直

つながる大阪へ立て直

つながる大阪へ立て直

つながる大阪へ立て直

つながる大阪へ立て直

つながる大阪へ立て直

つながる大阪へ立て直

つながる大阪へ立て直

つながる大阪へ立て直

つながる大阪へ立て直

つながる大阪へ立て直

つながる大阪へ立て直

つながる大阪へ立て直